

LEBEN

1958年11月



1

鹿児島大学生物研究会

————— 目次 —————

- ☆ はじめに ————竹迫堅之助——— 1
- ☆ 植物に於て ————市江 達——— 3
- ☆ 『佐多岬採集』甲虫に就て 堀田泉浩——— 4
- ☆ 採集録 ————松本 培夫——— 6
- ☆ 蛾について ————竹迫堅之助——— 7
- ☆ 音野山採集録 ——小坂泉雄——— 11
- ☆ 佐多岬採集旅行——三棟野善則——— 12



らにのど 恵研 念はる物校たの味むるのな ぼ研備あえ都た。い算て
 あ福どこ らくの 残であ博学し動趣進い身れ ぼ理のてら屋いた予理
 間事なな か全ほ ののはてはう活はにて自さ とも置らも部出き又無
 のをれ快 るにて かいに行館どの生方れ分束 とも装かて一ム少。は
 そと入倫 態ら うよる旅物体学学のお自約 るこ具いしかふてたと
 がこ手も 属状は ありてあ学博一九大物らには あい道な賃にをりいこ
 なるたのて に然鳥 ありてい金修にはるの生との来 も取賤未どう歩高おの
 なつ裁と 熱は鹿 であい金、うれた今春けも将 にもの実出定ど一つに上
 に持折は 重々。 とうと好事よこ心。持たうな 他室。ど不も竿づ集以
 くを歩も あり我う。 ばは頼いないのうこ強と立 由。あ室都れレ一はそ
 近味敷こ にくる。 究い現てどむ術の急うば 理るで研もそ直て標は
 年興ッる に多かる。 研て会しんぎ学だ論のるれ たるで研もそ直て標は
 に教にニあ 端がよい物れ好止とすはい句上やけか 未で命れどい建固の今
 めら物フの 南物てて生お同停ほかれはは税をびうてと 致けけ城かを年ど
 じか生と 嶽 嶽種つれの行出どん校に。どう華理やた徴たにが入び生基ざいる
 はてが山知 の動のさ鳥とん校に。どう華理やた徴たにが入び生基ざいる
 め分登る 本いと積思ん。と学度かゆいと者と 哀つ会室が屋に味られ年
 始自。す 日しる山鹿とがほる程うまいたもつ 研のが究部多部り実意少わ初
 をにた愈 珍の山鹿とがほる程うまいたもつ 研のが究部多部り実意少わ初
 昆虫事に 珍の山鹿とがほる程うまいたもつ 研のが究部多部り実意少わ初
 昆虫事に 珍の山鹿とがほる程うまいたもつ 研のが究部多部り実意少わ初
 は多の生あ 珍の山鹿とがほる程うまいたもつ 研のが究部多部り実意少わ初
 は多の生あ 珍の山鹿とがほる程うまいたもつ 研のが究部多部り実意少わ初
 私多感時で 珍の山鹿とがほる程うまいたもつ 研のが究部多部り実意少わ初

☆「佐多山甲採集」甲虫を道って

だりある。ついでに、
 暇余が、ついでに、
 多。お休みの景、
 目。夏に、
 回ぐ共、
 二。すたら、
 と。て、
 虫。し、
 甲。虫、
 れ。入、
 採。集、
 甲。虫、
 採。集、
 山。甲、
 多。山、
 佐。多、
 左。多、
 ☆。

多。山。甲。採。集。甲。虫。を。道。っ。て。
 だ。り。あ。る。つ。で。い。に。
 暇。余。が。つ。で。い。に。
 多。お。休。み。の。景。
 目。夏。に。
 回。ぐ。共。
 二。す。たら。
 と。て。
 虫。し。
 甲。虫。
 れ。入。
 採。集。
 甲。虫。
 採。集。
 山。甲。
 多。山。
 佐。多。
 左。多。
 ☆。

多。山。甲。採。集。甲。虫。を。道。っ。て。
 だ。り。あ。る。つ。で。い。に。
 暇。余。が。つ。で。い。に。
 多。お。休。み。の。景。
 目。夏。に。
 回。ぐ。共。
 二。す。たら。
 と。て。
 虫。し。
 甲。虫。
 れ。入。
 採。集。
 甲。虫。
 採。集。
 山。甲。
 多。山。
 佐。多。
 左。多。
 ☆。

☆ 採集録 寺山附近及び龍ヶ水

この附近は100m程の堰が切り立って、そこに豊富な植物が見られるが三日日程行つて見たが八分り植物相に驚かされてゐるようである。

龍ヶ水では特にサダソウを発見した時は喜しかった。以下採集物を少しあげるが不明のものが多く、羊歯類は省略する。尚参考書としては日本植物誌を参照した。

1. エゴシヨウ科 *Papaveria japonica* Makino
2. アワネ科 ホソバイボク *Fibris erecta* Thunberg
var. *Titchboldii* King.
3. イラクサ科 不明 2種 (
4. エノキバヤドリキ科 *Bifaria japonica* var. *Tieghemii*
エノキバヤドリキ
5. キニボウゲ科 *Clematis apiculata* A. P. DeCandolle
ホトタニスル
Clematis picotii Mig.
6. ツツラフデ科 *Cocculus leucifolius* A. P. DeCandolle
ユウシヨウサリ
7. アジサイ科 *Cardiandra alternifolia* Titchbold
t. *Zuccarini* クサアジサイ
8. マメ科 スズビトハギ 不明 1種
9. ガイモ科 *Marsdenia tomentosa* Morren
et. *Daviesii* キョラン
10. ナス科 *Tutorapsicum anomalbum* Makino 11ツカホサダキ
Zelanium biflorum タマサニコ
11. ニツ科 *Perilla frutescens* レモンエゴマ
その他 不明 1種
12. コマノハグサ科 *Botryopleuron axillare* Hemsl.ey.
13. ... トラノオスズカケ
13. キツネノマゴ科 イセハナビ
14. アサネ科 不明 1種
15. キキョウ科 *Cadenanopsis ussuriensis* Hemsl. バアツグ
16. エゴ科 不明 1種 シニウゴソウ, (ヒメカクシ)

- 17 イネ科 1種不明
- 18 オヤツリグサ科 1種不明
- 19 ミカン科 *Ban japonica* *almiflora* Neesnes
var *japonica* 子 *Zuzuki* マツカセ
- 20 トウダイグサ科 *Daphniphyllum esarodum*
Miquel エズリフ *D. obtusatum* Ziebold et Zuccarini
カンコノキ
- 21 ミツバウツギ科 *Turpinia ternata* Nakai
- 22 アワブキ科 *Melicoma rigida* Ziebold et
Zuccarini ヤマビワ
- 23 アオギリ科 *Corchoropsis tomentosa* Makino ナ
スナゴマ
- 24 オトギリソウ科 不明 1科
- 25 キゴシ科 *Ztachyusa praecox* Ziebold et
Zuccarini キゴシ
- 26 ジンケウケ科 *Diplomerpha pauciflora* Nakai?
- 27 セリ科 *Hydrocotyle nepalensis* Hook オホセリ
- 28 イナヤウリウ科 *Pyrola japonica* Klenz.
- 29 サケラケウ科 *Lysimachia japonica* Thunberg
var *subsessilis* F. Makino エトスビ
- 30 リンドウ科 *Zosteria japonica* Makino
- 31 エリ科 *Aparaguo linn* 1種
Aparaguo lucidus Lindl ナカスミカサ
- 32 ヤマノイモ科 不明
- 33 ショウボ科 *Alpinia japonica* Miquel ハナショウボ
- 34 ラニ科 *Cephalan falcate* Blume キニラニ?
不明 2種

—— 松本 啓文 ——

☆ 蛾 について

蛾は一般に種類が非常に多く、研究が遅れている。
又最近図書館書籍の類にほとんど無くその種名も大
部分知ることが難かしかつた。 宿 願 する 興味 あり

山言心出何さ。ち川佐地行日隈
 ろと中水に富ほる。こ迹との期に高
 け暴を巻兒豊があら山島このこた
 つ無士下研の種であ隈子るとこつ
 もく博上類容の念と高種すうであ
 午全三の蛾内。入下島中属う小り
 の下梯鑑も。の。に縣霧のにだそ獲
 この崎回で。その。実。に岬。こ。帯。る。収
 がた江類者。約。も。と。多。熱。未。下。的。収
 アし故蛾る。類。明。ご。佐。る。悪。出。つ。較。す。海。わ。山。小。集。向。る。下。カ。か。よ。百。す。で。山。ま。種。ッ
 ねぼ逆本様可蛾説る島あ百集ま比まで行。登山採川あくかろる。下。ぼ。ま。の。ほ。ま。下。ン
 又伸最日。か。が。り。の。あ。子。で。全。採。し。さ。し。岳。ぼ。る。の。採。で。お。源。え。下。小。あ。下。集。お。小。マ
 アをし色私気産そ隈種年完がて行。に。大。柄。し。い。承。上。集。と。光。言。見。下。あ。け。採。て。さ。マ
 百牛か原でな本り未。山。で。蛾。れ。に。と。大。柄。し。い。承。上。集。と。光。言。見。下。あ。け。採。て。さ。マ
 うにしろんう日お以た。寺。外。り。さ。集。こ。ほ。し。山。強。が。岳。向。と。小。と。下。し。に。出。夜。加。収。マ
 小類。か。よ。よ。く。て。学。い。山。想。種。え。採。す。峰。も。う。に。下。仰。祀。ほ。そ。こ。を。集。う。で。す。所。で。ヤ
 の蛾た。在。お。た。し。小。入。歩。城。予。多。が。く。記。主。見。知。常。し。い。ど。ほ。る。う。杯。採。よ。人。未。已。隈
 私。い。つ。育。に。得。晴。さ。に。て。ほ。く。ぞ。つ。長。て。の。発。で。非。小。途。ん。と。る。い。ち。の。一。出。と。高。社
 う。な。が。保。る。を。素。録。学。し。で。全。さ。く。も。り。跡。り。と。か。あ。米。と。こ。あ。と。わ。間。因。ど。も。二。年。が
 か。も。な。て。水。場。に。収。大。集。ろ。ほ。く。最。つ。お。配。行。の。ほ。る。で。杯。原。ん。と。大。今。夫
 心。う。他。し。さ。足。美。と。年。採。二。岬。で。全。が。に。隈。化。の。心。で。お。も。た。採。程。り。所。ん。大。守。く。ま。次。ハ
 奇。そ。う。と。版。か。け。ん。昨。と。と。多。方。ほ。私。山。高。で。ま。う。間。も。た。採。程。り。所。ん。大。守。く。ま。次。ハ

(VIII 28)

- イカリモンガ科 ベイカリモンガ (Ⅷ10)
- フタオガ科 ハガタフタオ (Ⅷ28) キスジシロフタオ (Ⅷ28)
- シヤクホコガ科 キシヤクホコ (Ⅷ19) ギンホシシヤクホコ (Ⅷ28)
- ヤガ科 フタガリ (Ⅷ28) ネジロコヤガ (Ⅷ31) ノコメセダカヨトウ (Ⅷ28) オオシラネシヤクバ (Ⅷ28) キロアツバ (Ⅷ19) フジロアツバ (Ⅷ?) アケビコリハ (Ⅷ28) カキバトモエ (Ⅷ28) オオトモエ (Ⅷ?) シセスジトモエ (Ⅷ19) トモエカ オオエダシバ (Ⅷ) アカエダシバ (Ⅷ19) オオシロチンクケバ (Ⅷ) ウンモンクケバ (Ⅷ) カバフヒメクケバ (Ⅷ31) モンモンエダシバ (Ⅷ19) ヒメエダシバ (Ⅷ31) シロテシマキリアツバ (Ⅷ31)
- マダラガ科 サツマニシキ (Ⅷ10) ヲツクシマダラ (Ⅷ31)
- メイガ科 シセオビナカバカシノメイガ (Ⅷ31) サツマツトガ (Ⅷ28) フクマタノメイガ (Ⅷ19) クロヘリキノメイガ (Ⅷ16) ホリヨスジノメイガ (Ⅷ) シロオビノメイガ (Ⅷ, Ⅷ) マメノメイガ (Ⅷ31) モシロクロノメイガ (Ⅷ, Ⅷ) モンキクロノメイガ (Ⅷ, Ⅷ) オオキノメイガ (Ⅷ31) タクワニモノキノメイガ (Ⅷ31) ツトガ
- ドクガ科 マイマイガ (黒)
- シヤクガ科 キマダラオオトシヤク (Ⅷ10) ハリスシヤク (Ⅷ28) テンゲトシヤク (Ⅷ) オウバトシヤク (Ⅷ10) シラネオオトシヤク (Ⅷ28) ヒメカギバアオシヤク (Ⅷ28) マエキロシヤク (Ⅷ) アコニエダシヤク (Ⅷ31) ハリダシヤク (Ⅷ31) ウスオエダシヤク (Ⅷ31) コミクシヤク (Ⅷ) クロフシロエダシヤク (Ⅷ10) クロフシロシヤク (Ⅷ10) ヒヨウモシヤク (Ⅷ10) アダシヤク (Ⅷ10) ツマシロシヤク (Ⅷ28) スカシヤク (Ⅷ28) ナミスジシヤク (Ⅷ10) アダシヤク (Ⅷ28) アダシヤク (Ⅷ28) アダシヤク (Ⅷ28) アダシヤク (Ⅷ28) アダシヤク (Ⅷ28)

ク(Ⅷ10)

○マドガ科 マダラマドガ(Ⅷ17)
 まだ十分分類を済ませておらず特にシクガ科ヒメ
 シクガ亜科の Scapula 属の様は難しいものやヒロズ
 ユガ科ヒゲトガ科スガ科と、つたよいう小蛾の類
 ほほとんどまだ種名が不明なものが多いこと
 すここのにあげたのほ中型のものが多いこと
 一般に鹿兒島県に蛾について考えてみると蛾類の
 研究はまだ誰もやっておらずしたが、全く未開
 の状態に置かれています。これから採集を怠ると
 珍種が多く現れるので、何年かかと思われ。又
 分布範囲が今迄よりも伸びるので、何年かかと思われ
 ぬる種も多し。現に エグリエダシヤク (高隈
 町 1957) マエキシロエダシヤク (高隈 17 Ⅷ 1958)
ヒロバウスマエダシヤク (城山 24 Ⅷ 1958) 等の珍
 種が私の標本箱の中に入っているし、この他種名
 不明のものの中にも多くの珍種が含まれているも
 のと思われ。マエキシロエダシヤクは以前鹿兒島県と一頭採集
 さしたさりで消息の全く解らない種であり、ヒ
 ロバウスマエダシヤクは屋久島で一頭採集された
 だけの珍種です。これのように今迄珍種と云ったものは、採集を怠ると
 見つかる珍種で、何年かたると、何年かたると、何年かたると、
 この他色々。勿論私には、問題の多いものも、採集を怠ると、
 と、問題が大部で、行く末、同じ蛾類に、
 と、同好者を増やして、行く末、同じ蛾類に、
 子で、行くと、思っています。

—— 時 望 の 助 ——

出云は、で太動くと、驚るゝ食歸、い早にもさのり、イ物
 いべ集向端り、驚るゝ食歸、い早にもさのり、イ物
 食こ採へ南お物ほけがさ。な負て耳最響音や影バる
 てべ。岬のる植にかな食た。く背れを。の波ん船ニ見
 いつす。州ず、の極見昼し早、疲騒たえ。ぼ、グマ
 佐。まう九感ぬいもにで口が打皆潮いてる。の白、め
 。たいバ、もけ多る左所困足おほるてしい左さる。始
 た、思うが、さ掛にむをたと時夜くしそて右、る等
 いまとバぬ暑見更草崖っほと自然たのびへ、っ、るた主
 てしたどれも段がぬ、ると自然たのびへ、っ、るた主
 来て、んしで普物してそほた着。送、い、ろれ、の行、あ、の
 出っか殆もけ、く解、がはり、たが思、洗、船、船、へ、で、う
 がななてかだ、引の通、管、に、カ、へ、つ、月、を、を、ニ、船、工、ウ
 食くま、し、め、認、様、を、道、と、の、の、帰、あ、の、事、肌、せ、ホ、そ、感、マ
 日朝遅すにえ意ぬ目、所た、い、ぼ、い、て、夜、来、岩、よ、こ、マ、ハ、マ
 日時は一番に様、い、覚、ぬ、け、な、い、な、い、か、物、出、の、打、ボ、し、ハ、マ
 旺時一更うは感知、ぬ、気、着、が、た、い、日、の、岬、で、る、え、か、生、た。
 日たが、行、と、ろ、も、陰、へ、木、み、の、株、し、日、た、中、え、鳥、す、群、つ、た。
 日たが、行、と、ろ、も、陰、へ、木、み、の、株、し、日、た、中、え、鳥、す、群、つ、た。
 三起又、い、め、南、と、暑、昆、の、茂、燈、岬、も、程、事、と、目、に、種、す、オ、な、四、上、五、敷、用、印、象、た
 十が、は、て、い、め、南、と、暑、昆、の、茂、燈、岬、も、程、事、と、目、に、種、す、オ、な、四、上、五、敷、用、印、象、た
 七月俺、癸、つ、め、た、あ、陽、物、灌、木、岬、た、ほ、し、れ、寝、な、象、ま、に、ん、ん、五、歩、く、す、途、上、五、敷、用、印、象、た

別れた。見来た。行
 と別れた。見来た。行
 氏と別れた。見来た。行
 竹迫氏と別れた。見来た。行
 一泊し、竹迫氏と別れた。見来た。行
 向、無事、行、う、鹿、行、そ、島、今、ま、へ、度、又、帰、は、か、る、事、の、た、が、目、に、出、的、見、来、で、行